

# 市内中小企業景況調査報告書

令和6年5月～8月（実績）

令和6年9月～12月（見通し）

令和6年9月

江別商工会議所

# 目 次

## I 調査要領

1. 調 査 対 象	2
2. 調 査 方 法	2
3. 業 種 別 回 答 状 況	2

## II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業 況	3
3. 売 上 状 況	8
4. 利 益 状 況	9
5. 資 金 繰 り 状 況	10
6. 設 備 投 資 状 況	11
7. 雇 用 状 況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経 営 上 の 問 題 点	14

## III 業種別参考資料

1. 製 造 業	15
2. 小 売 業	16
3. サ ー ビ ス 業	17
4. 建 設 業	18

# Ⅰ 調査要領

## 1. 調査対象

- ・ 市内中小企業 400企業
- 【内訳】
  - ・ 製造業 81企業
  - ・ 卸売業 50企業
  - ・ 小売業 67企業
  - ・ サービス業 102企業
  - ・ 建設業 100企業

## 2. 調査方法

- ・ 郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・ 調査票発送日 令和6年8月1日
- ・ 調査票回答期限 令和6年8月26日

## 3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	81	51	63.0%
卸売業	50	17	34.0%
小売業	67	30	44.8%
サービス業	102	40	39.2%
建設業	100	45	45.0%
合計	400	183	45.8%

※本調査結果報告書中の「DI値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

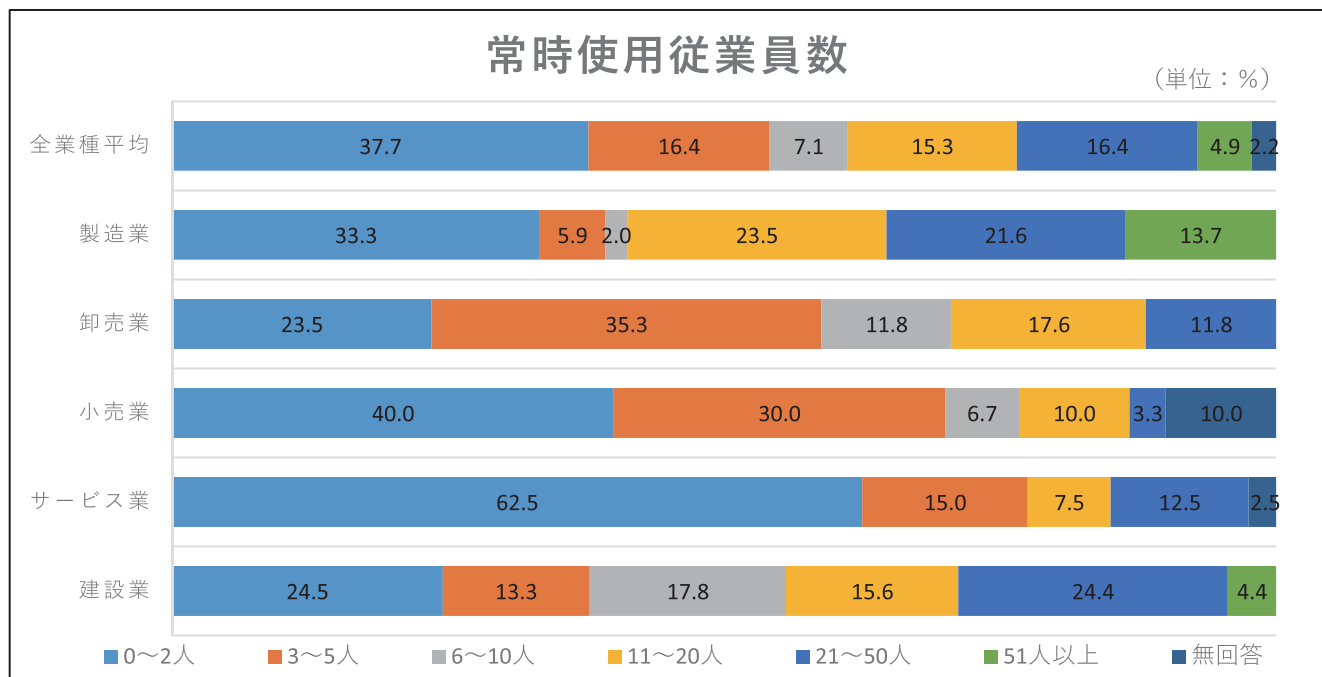
※本調査結果報告書中の「前回」とは、令和6年4月（令和6年1月～4月）を示し、「前年同期」とは、令和5年8月（令和5年5月～8月）を示す。

## II 江別市内の経済動向

### 1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約76%を占めており、そのほとんどが小規模企業者であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



### 2. 業況

内閣府が発表した月例経済報告（令和6年8月発表）によると、個人消費は「一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる」と判断が変更され、生産は「このところ持ち直しの動きがみられる」、企業収益は「総じてみれば改善している」、設備投資は「持ち直しの動きがみられる」、公共投資は「堅調に推移している」、雇用情勢は「改善の動きがみられる」、倒産件数は「増加がみられる」、消費者物価は「緩やかに上昇している」、企業の業況判断は、「改善している」との判断が継続された。景気は一部に足踏みが残るものの緩やかに回復しており、先行きについては雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるとされている。

北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和6年8月発表）によると、個人消費は「緩やかに改善している」、生産活動は「一進一退の動きとなっている」、民間設備投資は「増加している」、雇用動向は「弱含んでいる」、企業倒産は「件数は増加、負債総額は減少した」、住宅建設は「弱い動きとなっている」との判断が継続されたが、公共工事は「減少した」に下方修正された。有効求人倍率（6月）は0.88倍と前年同月差0.09ポイント低下し、15か月連続で前年を下回った。

道内経済は、緩やかに持ち直している。先行きについては、国際経済の動向等を十分に注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和6年5月～8月）では全業種平均の今期業況DI値は△14.3と前回（令和6年4月期）△18.2に比べ3.9ポイントの改善となり、業種別にみると、卸売業で44.2ポイント、サービス業で19.2ポイント、小売業で12.1ポイントの改善となったが、建設業で18.0ポイント、製造業で5.6ポイントの悪化となっている。

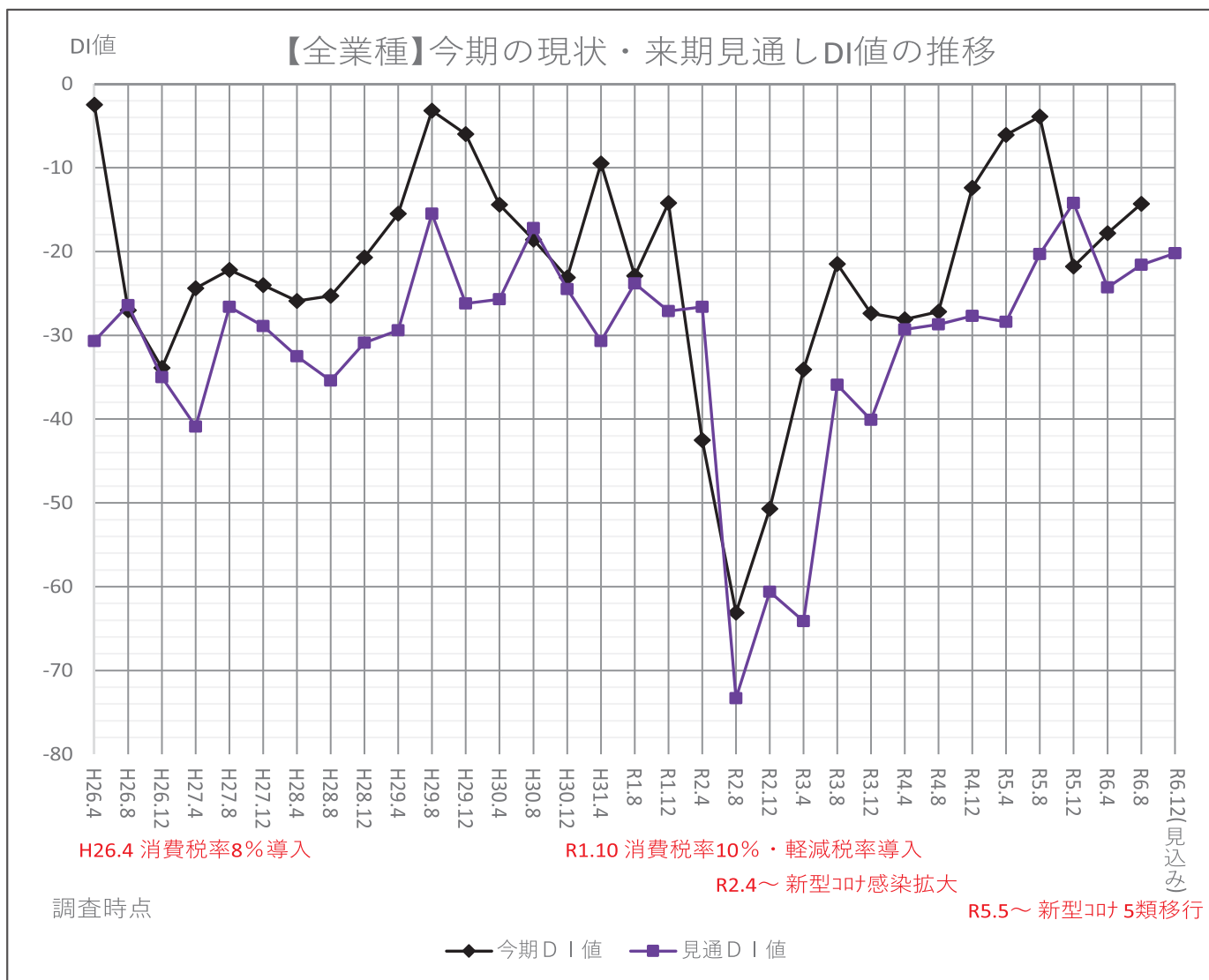
今期業況DI値を前年同期（令和5年8月期）の調査結果と比較すると卸売業で32.9ポイントサービス業で0.2ポイントの改善となったが、製造業で34.3ポイント、建設業で10.2ポイント、小売業では9.6ポイント悪化している。

来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると建設業と小売業で共に20.0ポイントの改善となっているが、それ以外の業種では卸売業で41.0ポイント、サービス業で40.0ポイント、製造業で5.8ポイントの悪化見通しとなっている。

景況については全体として緩やかに改善の動きが続いているが、先行きについては国際情勢や物価上昇等の影響が続く中で、持ち直しに弱さが見られる見通しとなっている。

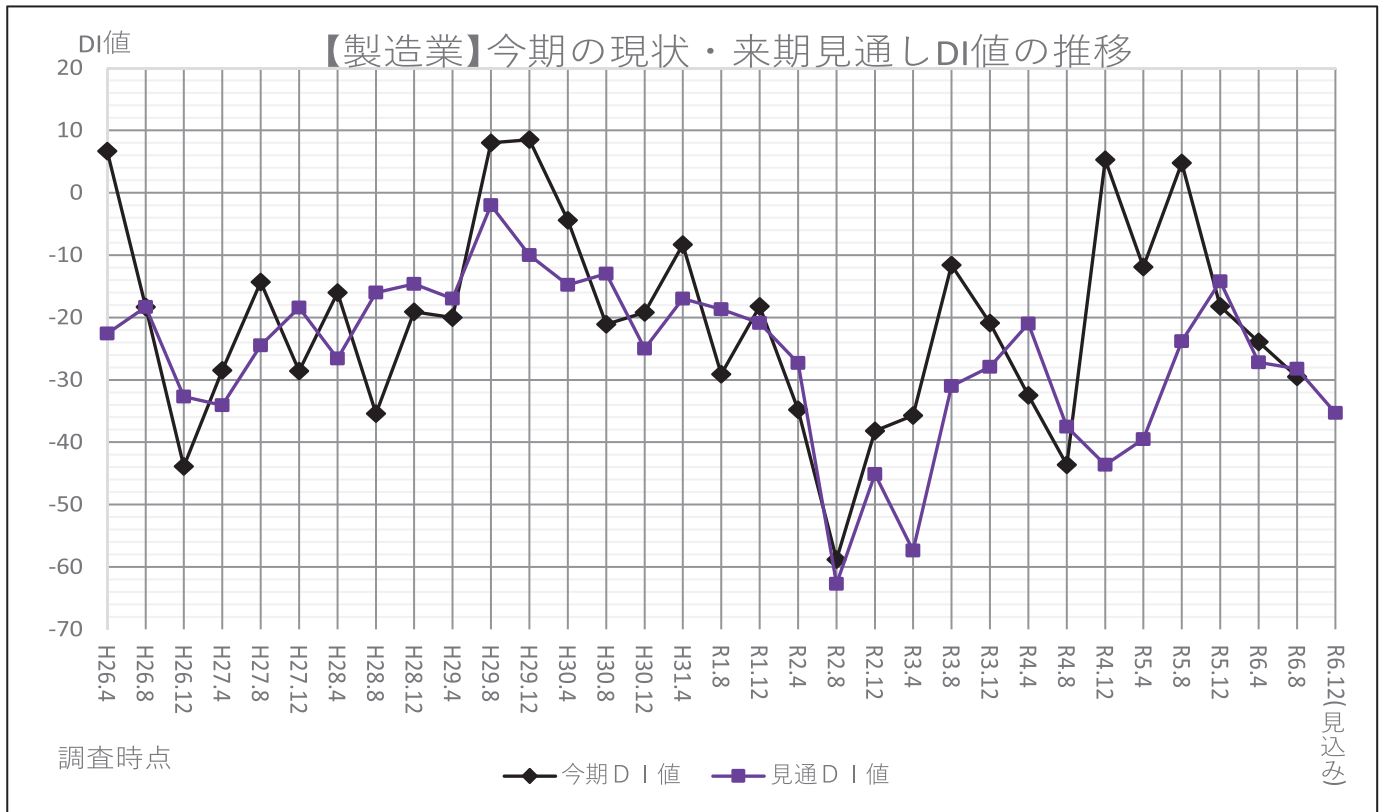
### 全業種平均

- ・今期DI値は△14.3となり、前回より3.9ポイント改善、前年同期より10.4ポイント悪化。
- ・来期DI値は△20.2となり、今期より5.9ポイント悪化。



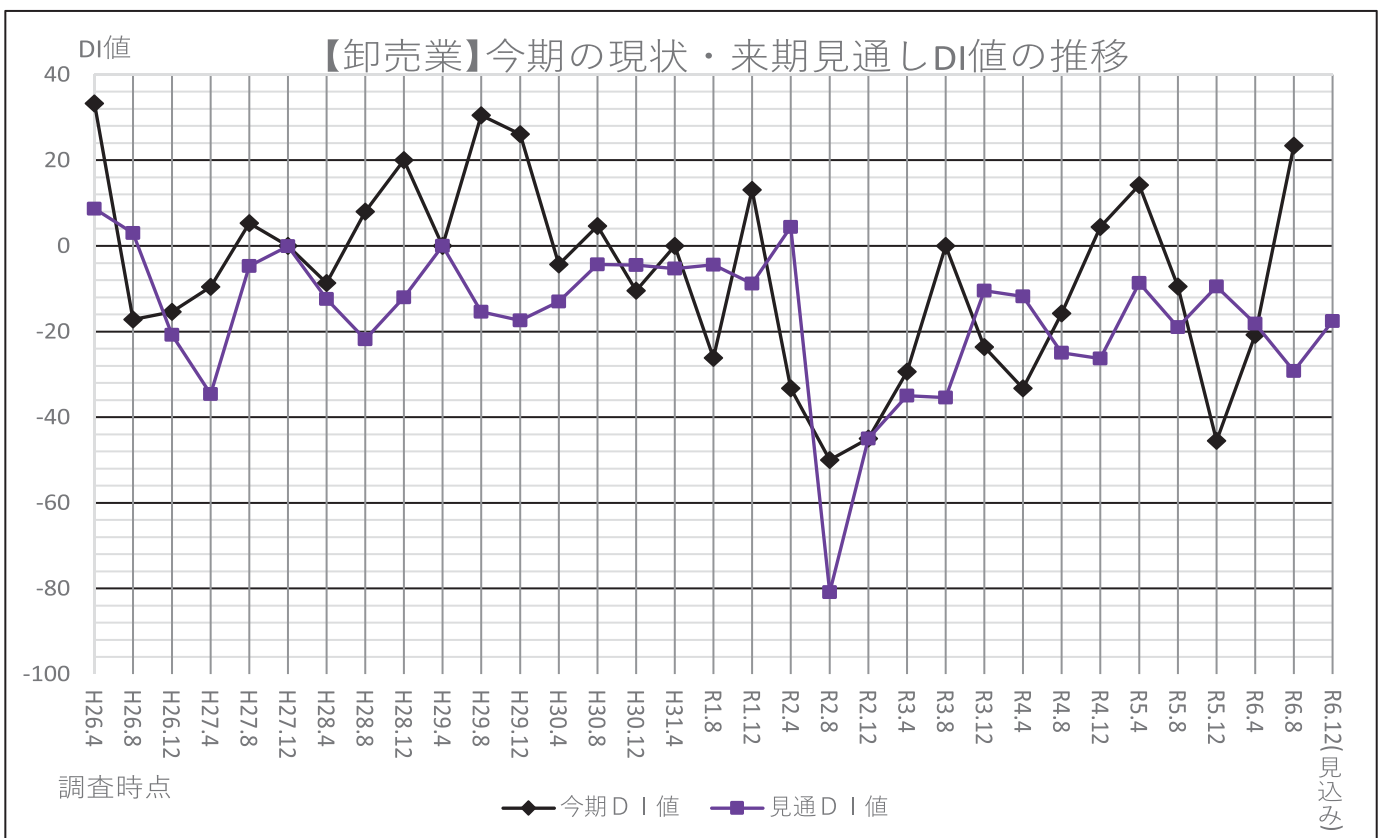
## 製造業

- ・今期DI値は△29.5となり、前回より5.6ポイント、前年同期より34.3ポイント悪化。
- ・来期DI値は△35.3となり、今期より5.8ポイント悪化。



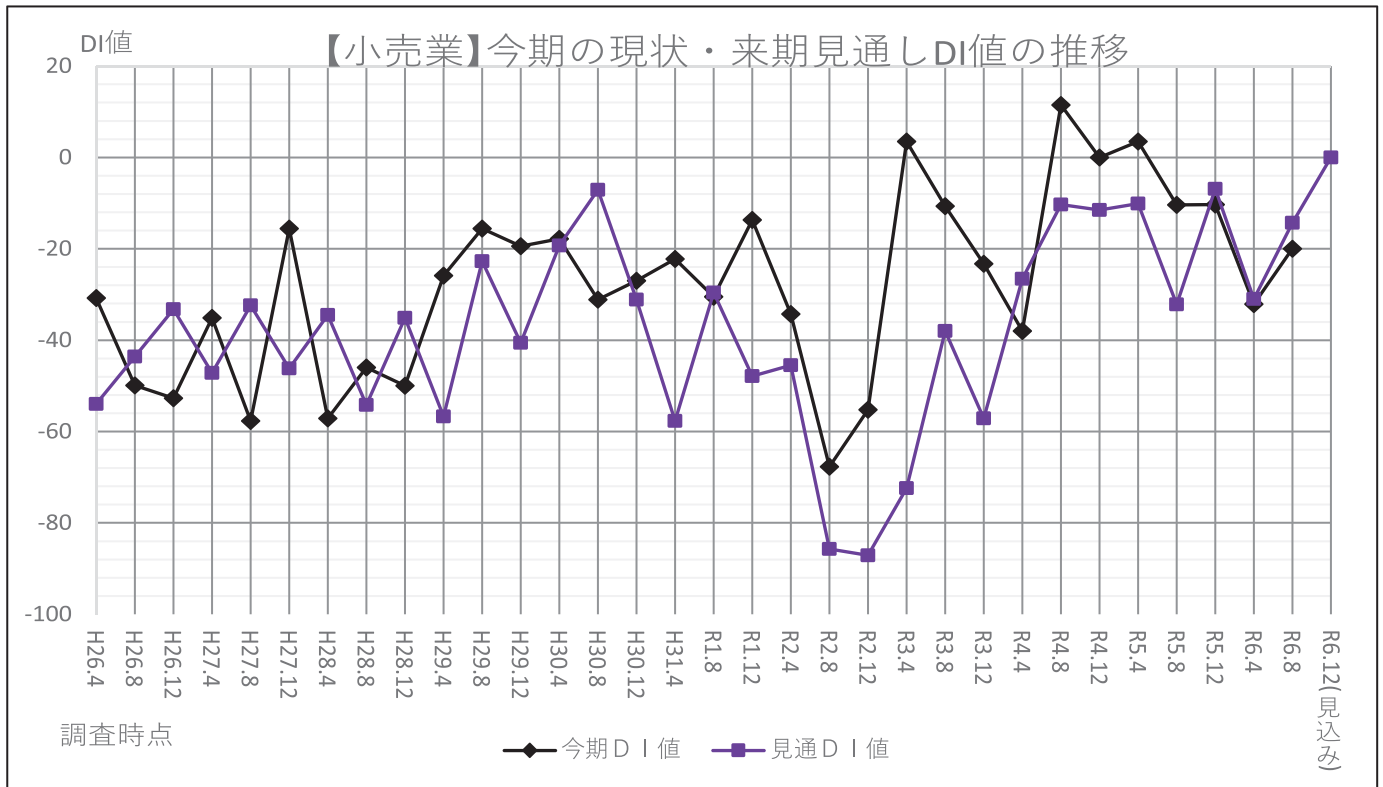
## 卸売業

- ・今期DI値は23.4となり、前回より44.2ポイント、前年同期より32.9ポイント改善。
- ・来期DI値は△17.6となり、今期より41.0ポイント悪化。



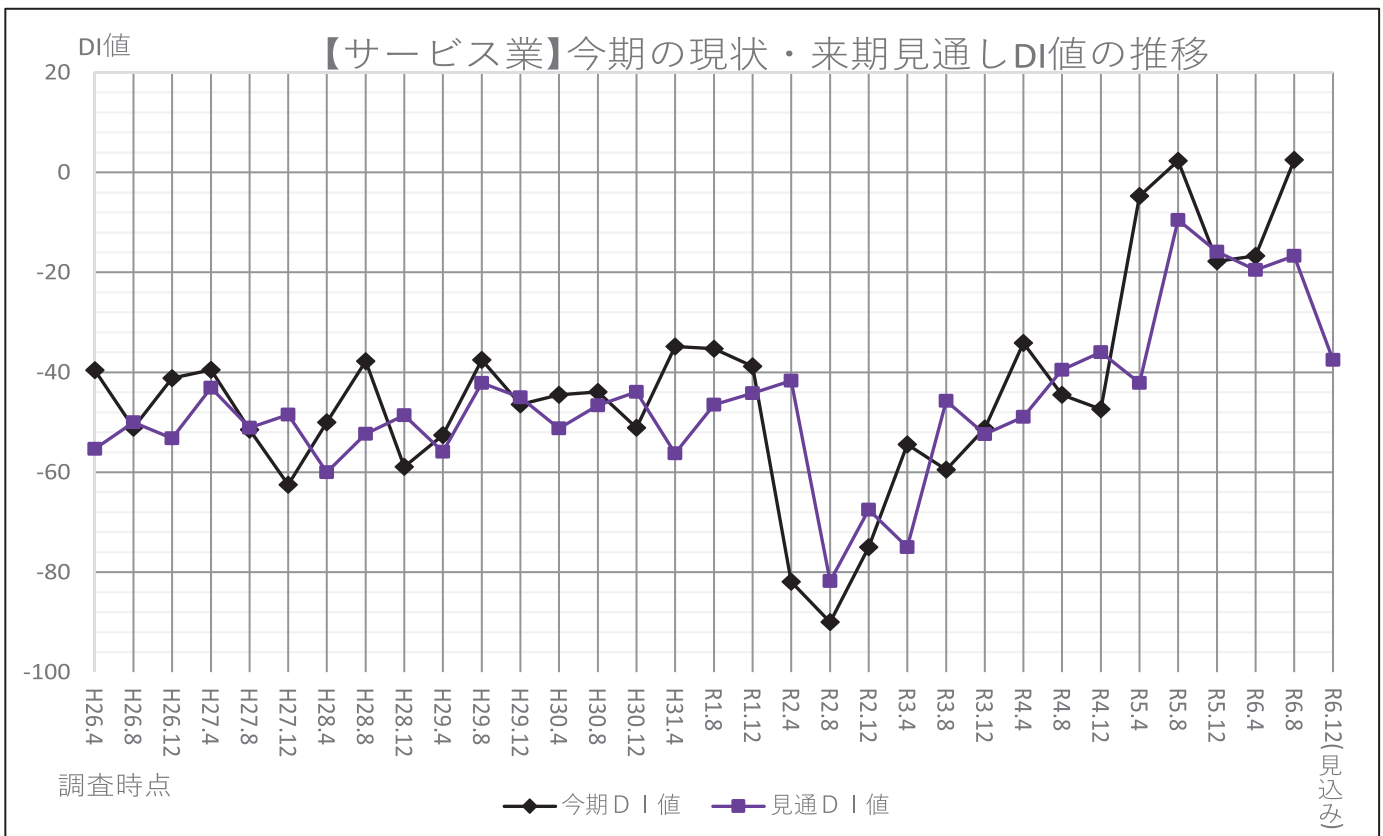
## 小 売 業

- ・今期DI値は $\Delta 20.0$ となり、前回より12.1ポイント改善、前年同期より9.6ポイント悪化。
- ・来期DI値は0.0となり、今期より20.0ポイント改善。



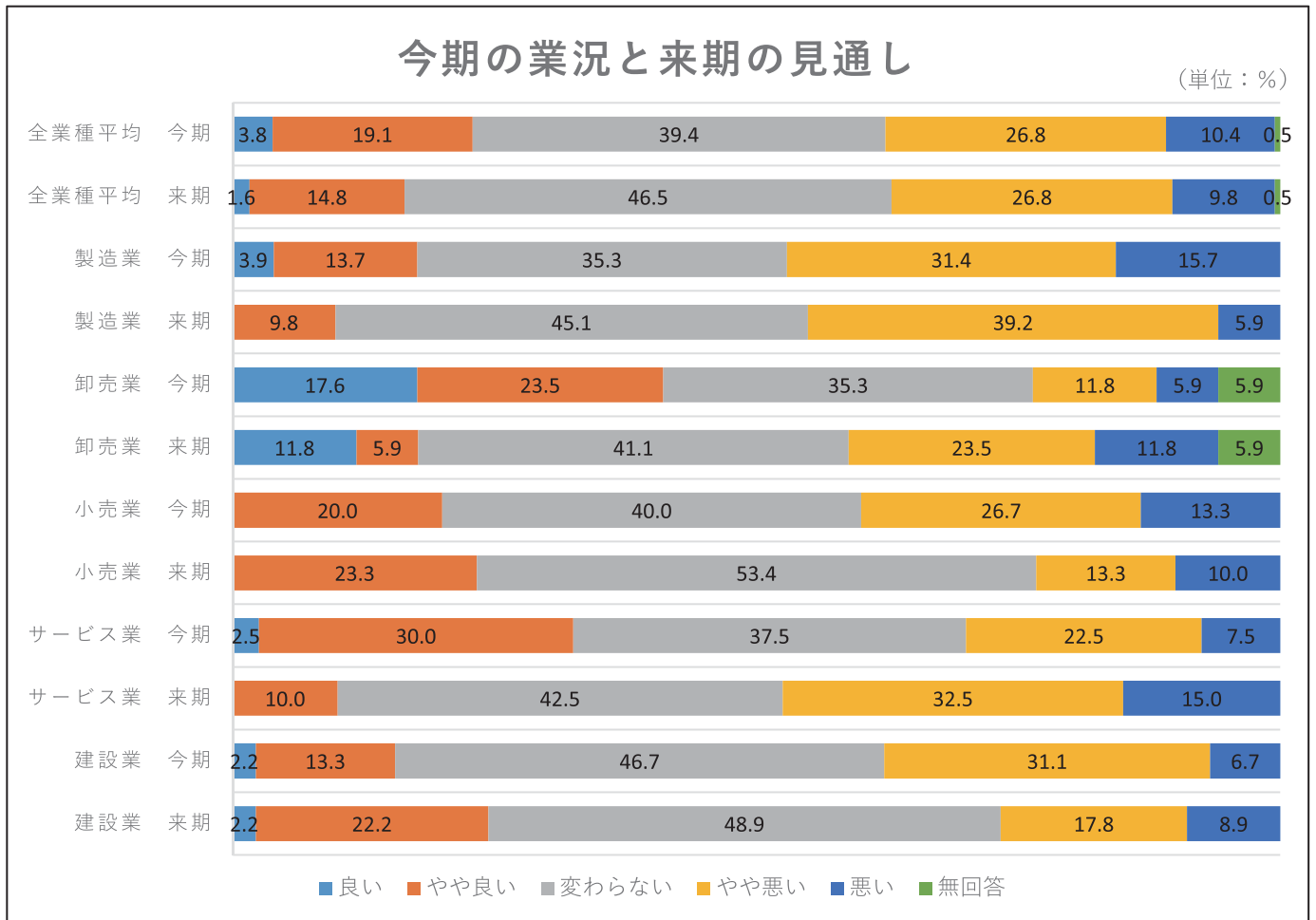
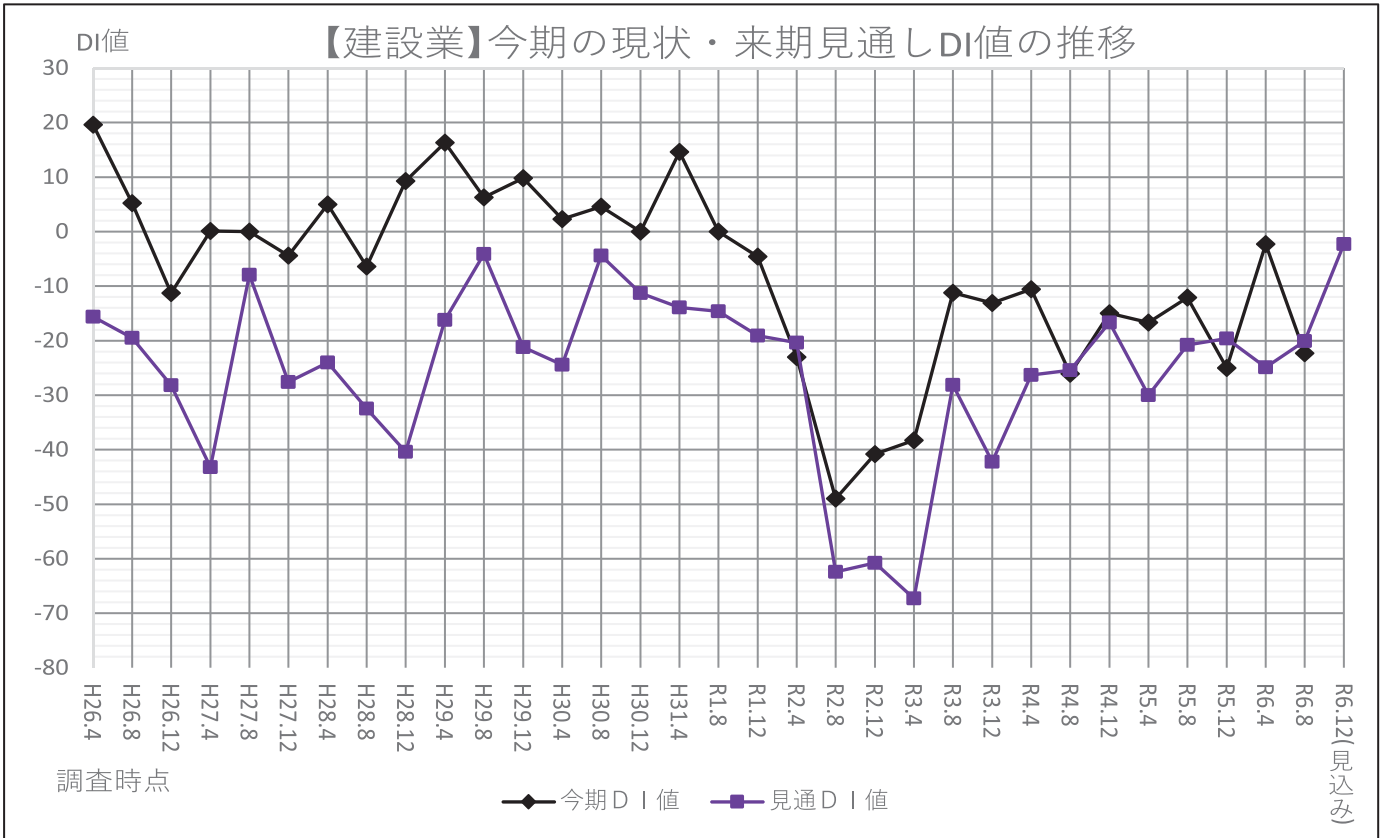
## サービス業

- ・今期DI値は2.5となり、前回より19.2ポイント、前年同期より0.2ポイント改善。
- ・来期DI値は $\Delta 37.5$ となり、今期より40.0ポイント悪化。



## 建設業

- ・今期DI値は△22.3となり、前回より18.0ポイント、前年同期より10.2ポイント悪化。
- ・来期DI値は△2.3となり、今期より20.0ポイント改善。





### 3. 売上状況

#### 全業種平均

- ・ 今期DI値は△9.3となり、前回より7.4ポイント改善、前年同期より13.3ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△17.4となり、今期より8.1ポイント悪化。

#### 製造業

- ・ 今期DI値は△9.8となり、前回より14.1ポイント改善、前年同期より19.3ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△33.4となり、今期より23.6ポイント悪化。

#### 卸売業

- ・ 今期DI値は17.6となり、前回より34.3ポイント、前年同期より3.3ポイント改善。
- ・ 来期DI値は0.1となり、今期より17.5ポイント悪化。

#### 小売業

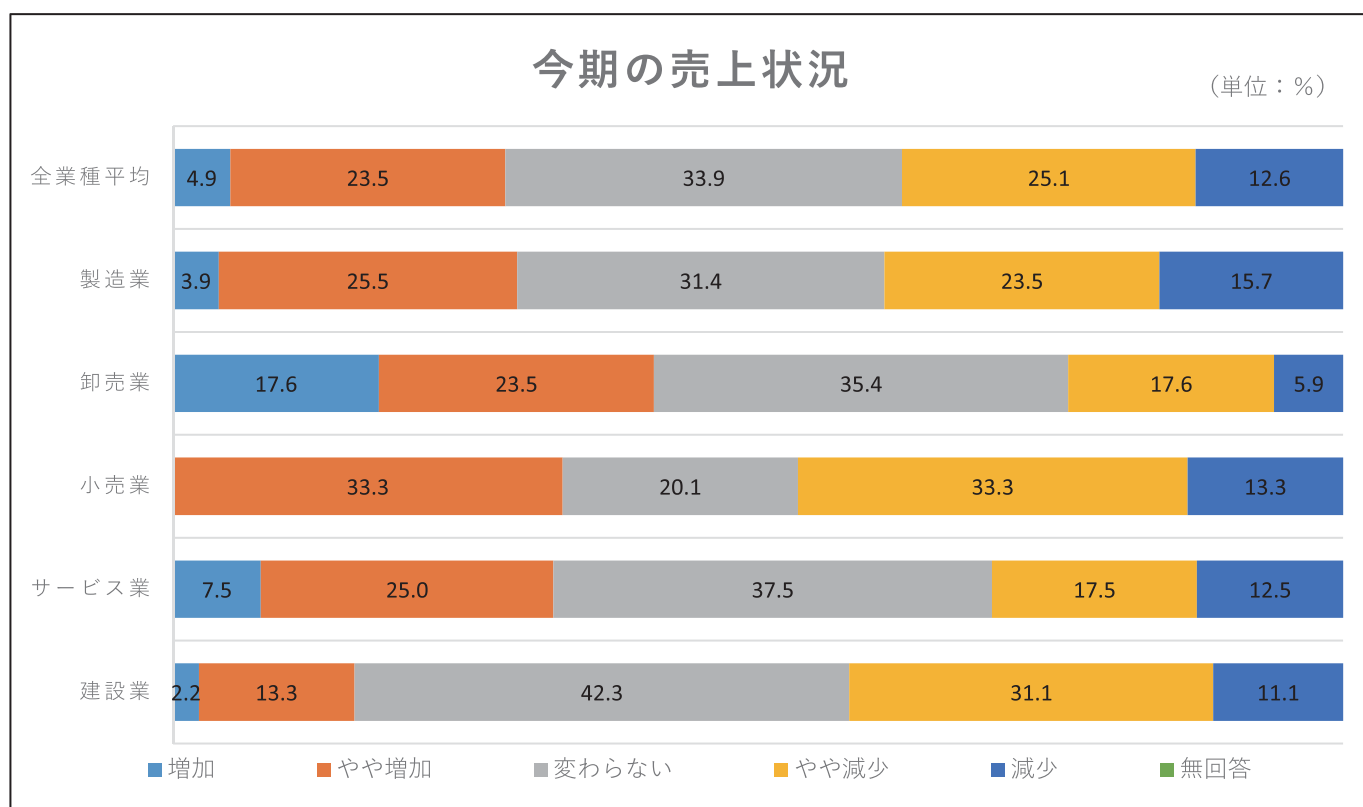
- ・ 今期DI値は△13.3となり、前回より15.3ポイント、前年同期より3.9ポイント改善。
- ・ 来期DI値は6.7となり、今期より20.0ポイント改善。

#### サービス業

- ・ 今期DI値は2.5となり、前回より23.9ポイント改善、前年同期より2.1ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△37.5となり、今期より40.0ポイント悪化。

#### 建設業

- ・ 今期DI値は△26.7となり、前回より28.9ポイント、前年同期より34.0ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△4.5となり、今期より22.2ポイント改善。



## 4. 利益状況

### 全業種平均

- ・ 今期DI値は△19.1となり、前回より3.6ポイント改善、前年同期より3.3ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△21.4となり、今期より2.3ポイント悪化。

### 製造業

- ・ 今期DI値は△31.4となり、前回より16.2ポイント、前年同期より26.7ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△35.3となり、今期より3.9ポイント悪化。

### 卸売業

- ・ 今期DI値は17.7となり、前回より46.9ポイント、前年同期より27.2ポイント改善。
- ・ 来期DI値は5.9となり、今期より11.8ポイント悪化。

### 小売業

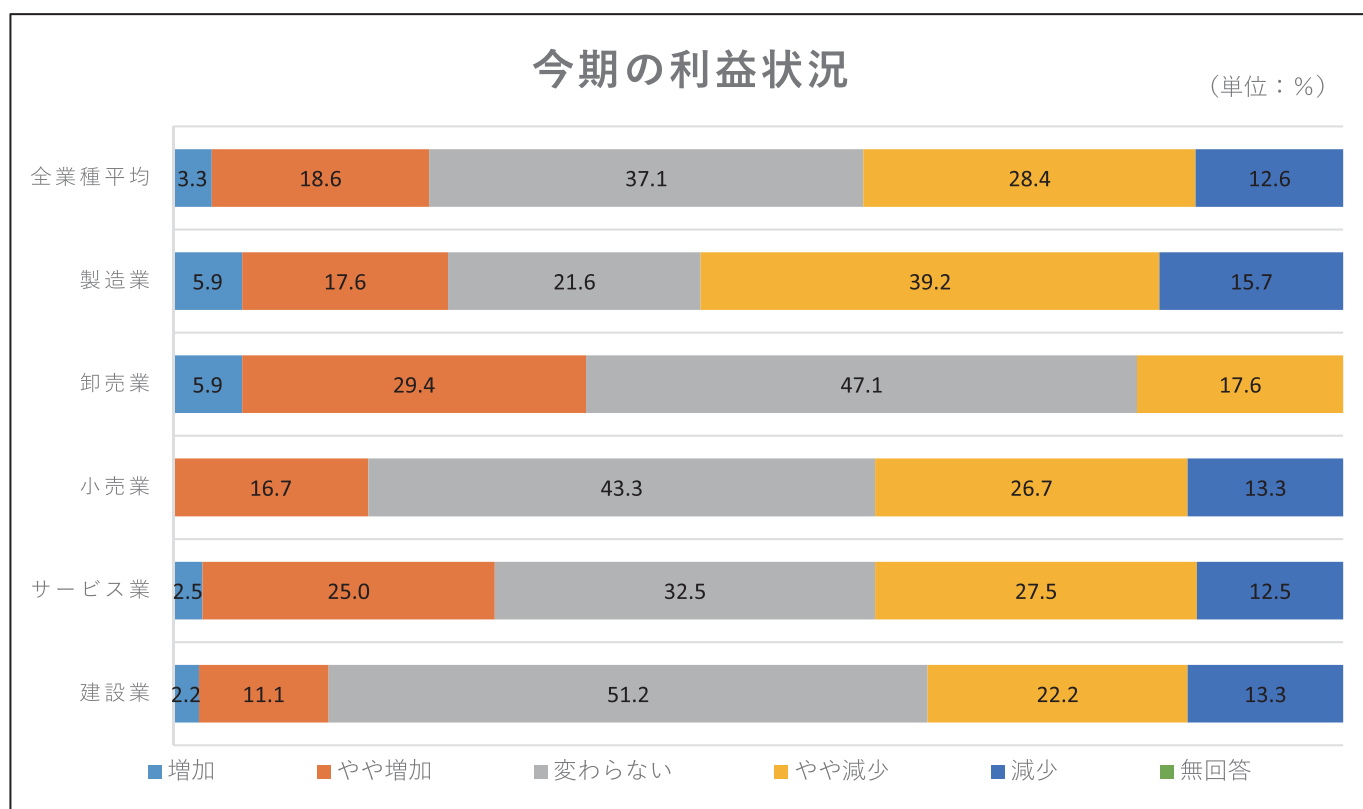
- ・ 今期DI値は△23.3となり、前回より12.4ポイント改善、前年同期より6.1ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△10.0となり、今期より13.3ポイント改善。

### サービス業

- ・ 今期DI値は△12.5となり、前回より13.7ポイント、前年同期より17.1ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△45.0となり、今期より32.5ポイント悪化。

### 建設業

- ・ 今期DI値は△22.2となり、前回より7.0ポイント、前年同期より7.6ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△2.3となり、今期より19.9ポイント改善。



## 5. 資金繰り状況

### 全業種平均

- ・ 今期DI値は△14.2となり、前回より0.8ポイント、前年同期より9.6ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△13.7となり、今期より0.5ポイント改善。

### 製造業

- ・ 今期DI値は△9.8となり、前回より5.5ポイント、前年同期より9.8ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△15.6となり、今期より5.8ポイント悪化。

### 卸売業

- ・ 今期DI値は△11.7となり、前回より0.8ポイント改善、前年同期より11.7ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は5.8となり、今期より17.5ポイント改善。

### 小売業

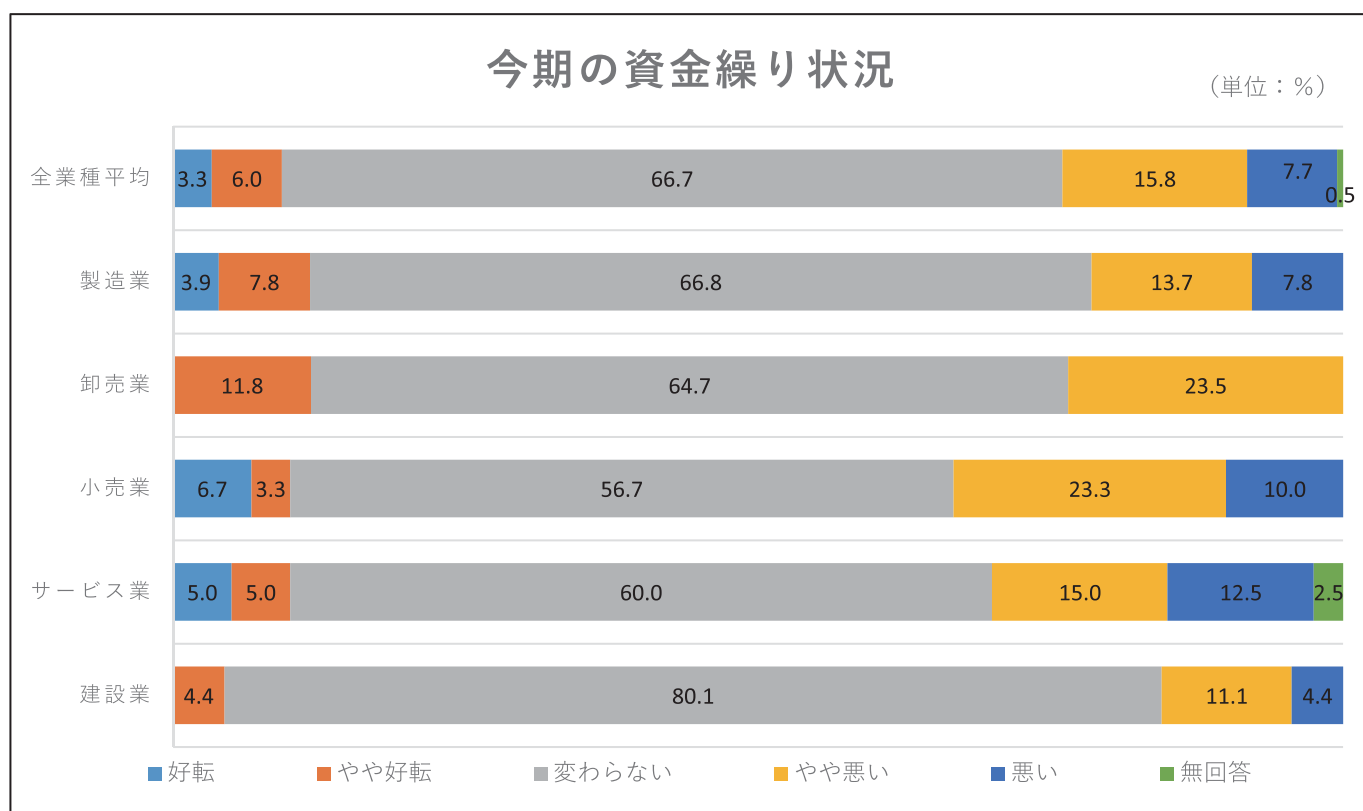
- ・ 今期DI値は△23.3となり、前回より1.6ポイント改善、前年同期より19.9ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△16.7となり、今期より6.6ポイント改善。

### サービス業

- ・ 今期DI値は△17.5となり、前回より1.6ポイント改善、前年同期より6.1ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△25.0となり、今期より7.5ポイント悪化。

### 建設業

- ・ 今期DI値は△11.1となり、前回より0.2ポイント、前年同期より6.2ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△6.7となり、今期より4.4ポイント改善。



## 6. 設備投資状況

### 全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は29.1%となり、前回より0.6%増加、前年同期より4.8%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は21.9%となり、今期より7.2%減少。

### 製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は40.0%となり、前回より3.5%、前年同期より10.0%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は37.3%となり、今期より2.7%減少。

### 卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は17.6%となり、前回より11.6%、前年同期より20.5%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は17.6%となり、今期と同水準。

### 小売業

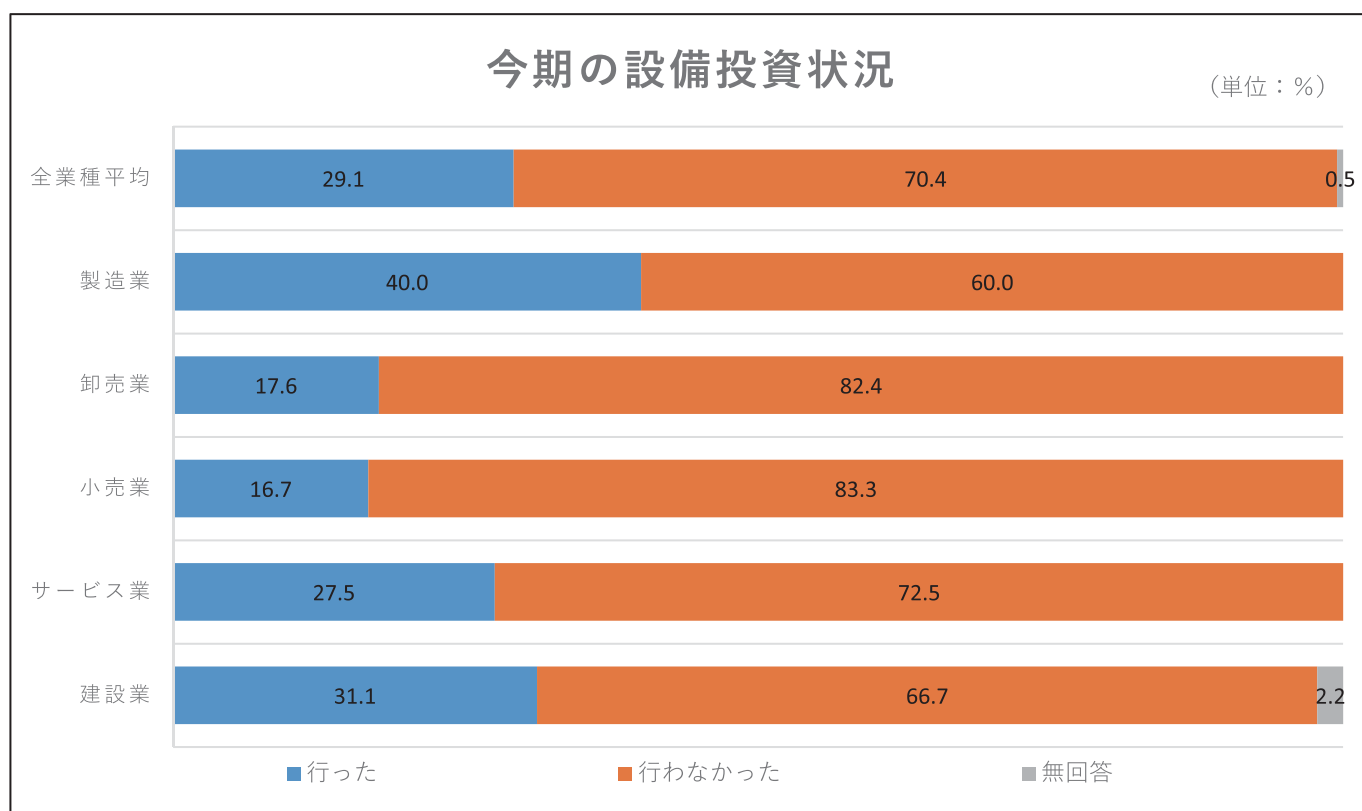
- ・今期に設備投資を行った割合は16.7%となり、前回より9.6%増加、前年同期より17.8%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は10.0%となり、今期より6.7%減少。

### サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は27.5%となり、前回より1.3%、前年同期より4.8%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は12.5%となり、今期より15.0%減少。

### 建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は31.1%となり、前回より2.8%、前年同期より4.3%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は22.2%となり、今期より8.9%減少。



## 7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

### 全業種平均

- ・今期DI値は△44.0となり、前回より7.0ポイント、前年同期より3.8ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は28.4%となり、前回より1.2%減少。

### 製造業

- ・今期DI値は△30.2となり、前回より7.3ポイント、前年同期より9.2ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は27.5%となり、前回より7.3%減少。

### 卸売業

- ・今期DI値は△46.7となり、前回より12.0ポイント、前年同期より15.2ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は35.3%となり、前回より14.5%増加。

### 小売業

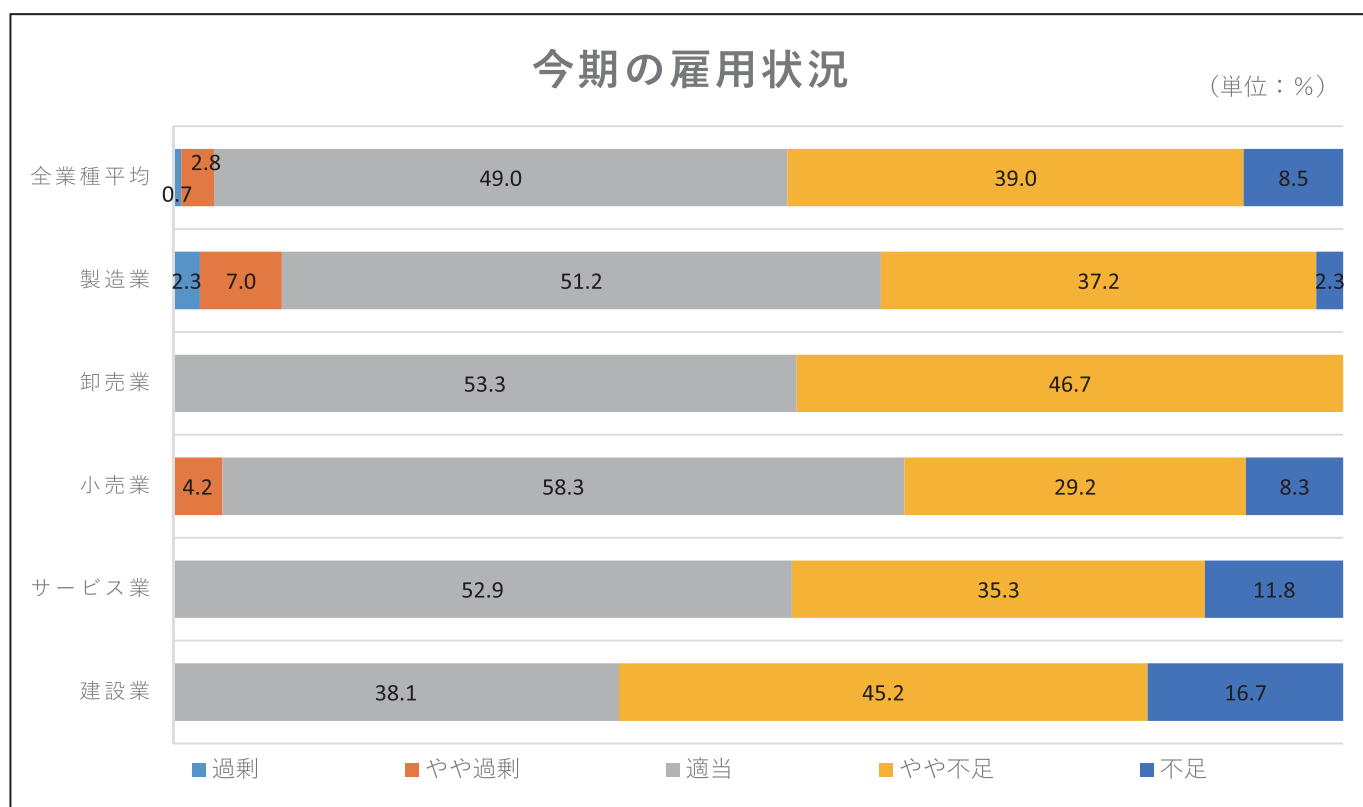
- ・今期DI値は△33.3となり、前回より3.1ポイント不足感が減少、前年同期より12.4ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は23.3%となり、前回より1.9%増加。

### サービス業

- ・今期DI値は△47.1となり、前回より10.8ポイント、前年同期より12.9ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は17.5%となり、前回より6.3%減少。

### 建設業

- ・今期DI値は△61.9となり、前回より14.9ポイント、前年同期より16.2ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は40.0%となり、前回より0.8%増加。



## 8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

### 全業種平均

- ・今期「受け入れている」企業の割合は3.3%となり、前回より1.0%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業の割合は3.3%となり、前回より0.5%減少。

### 製造業

- ・今期「受け入れている」企業の割合は3.9%となり、前回より0.4%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業の割合は5.9%となり、前回より1.6%増加。

### 卸売業

- ・今期「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は前回に引き続き無し。

### 小売業

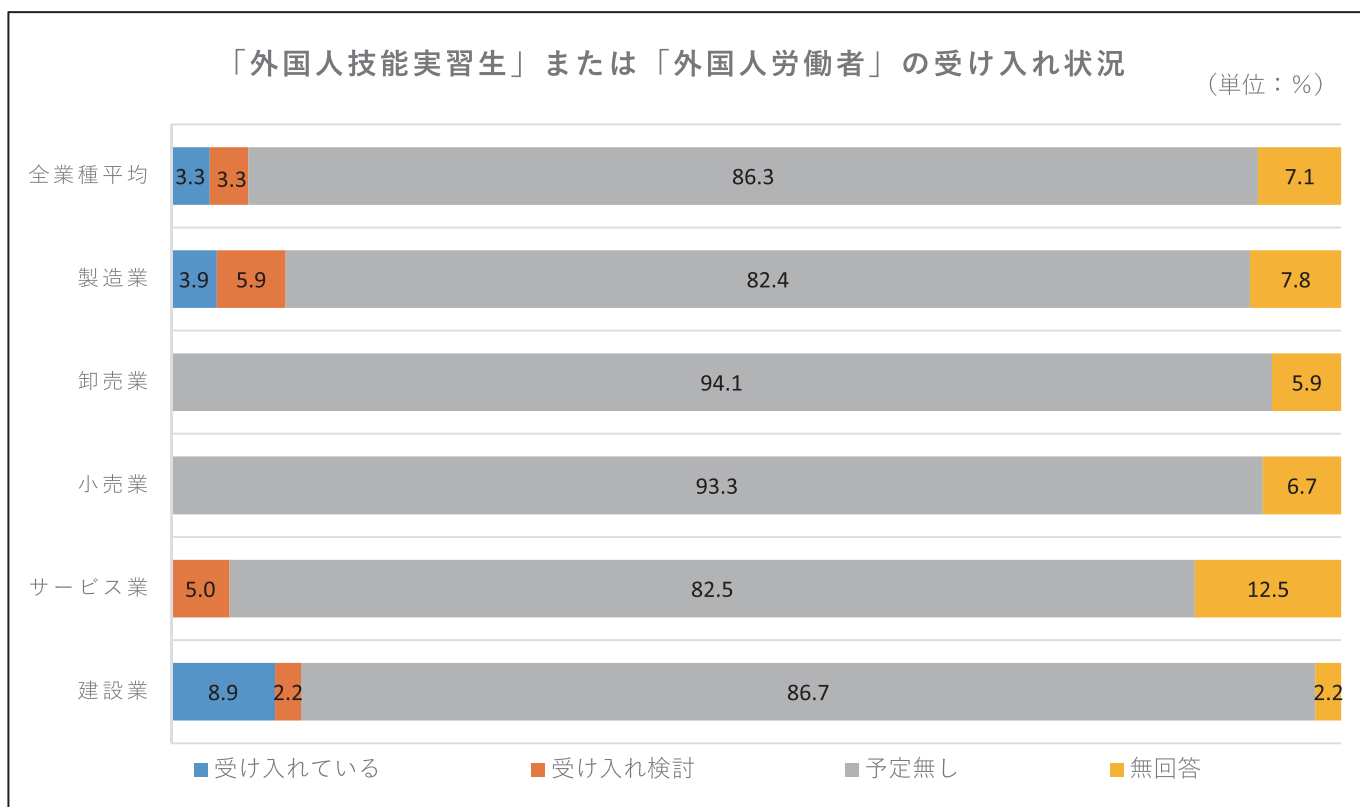
- ・今期「受け入れている」企業の割合は0.0%となり、前回より3.6%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は前回に引き続き無し。

### サービス業

- ・今期「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業の割合は5.0%となり、前回より2.1%減少。

### 建設業

- ・今期「受け入れている」企業の割合は8.9%となり、前回より2.0%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業の割合は2.2%となり、前回より2.1%減少。

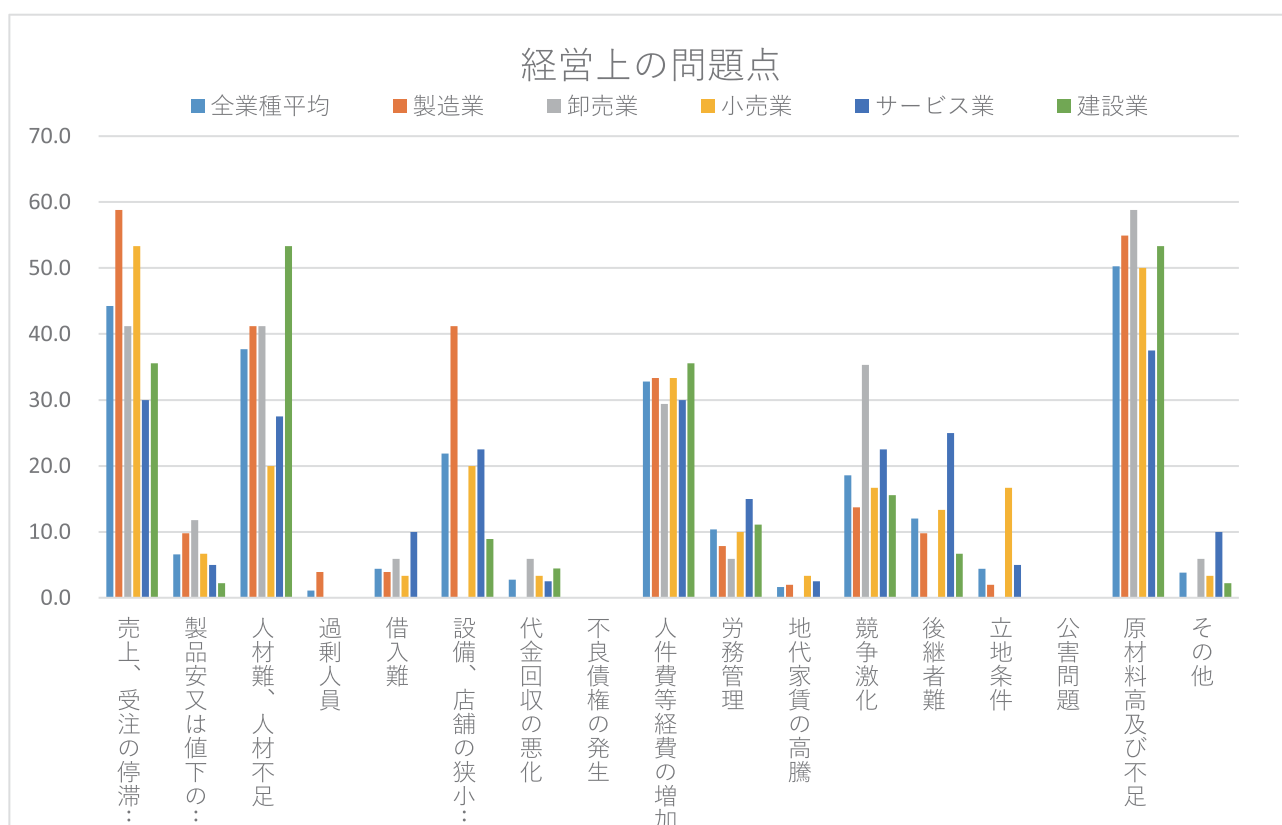


## 9. 経営上の問題点

- ・全業種平均では「原材料高及び不足」が50.3%と全体を通じて最も高く、次いで、「売上、受注の停滞減少」が44.3%、「人材難、人材不足」が37.7%と高い割合となっている。
- ・「その他」の意見として、「物流2024年問題の影響（卸売業）」、「安定した商材の確保（小売業）」、「経営者の過労による体力的な不安、新たに導入されるシステムが多く業務に組み入れるのが大変、物価上昇のスピードが速い、AIの脅威（サービス業）」「外注費の増加（建設業）」といった問題に苦慮する声が聞かれた。

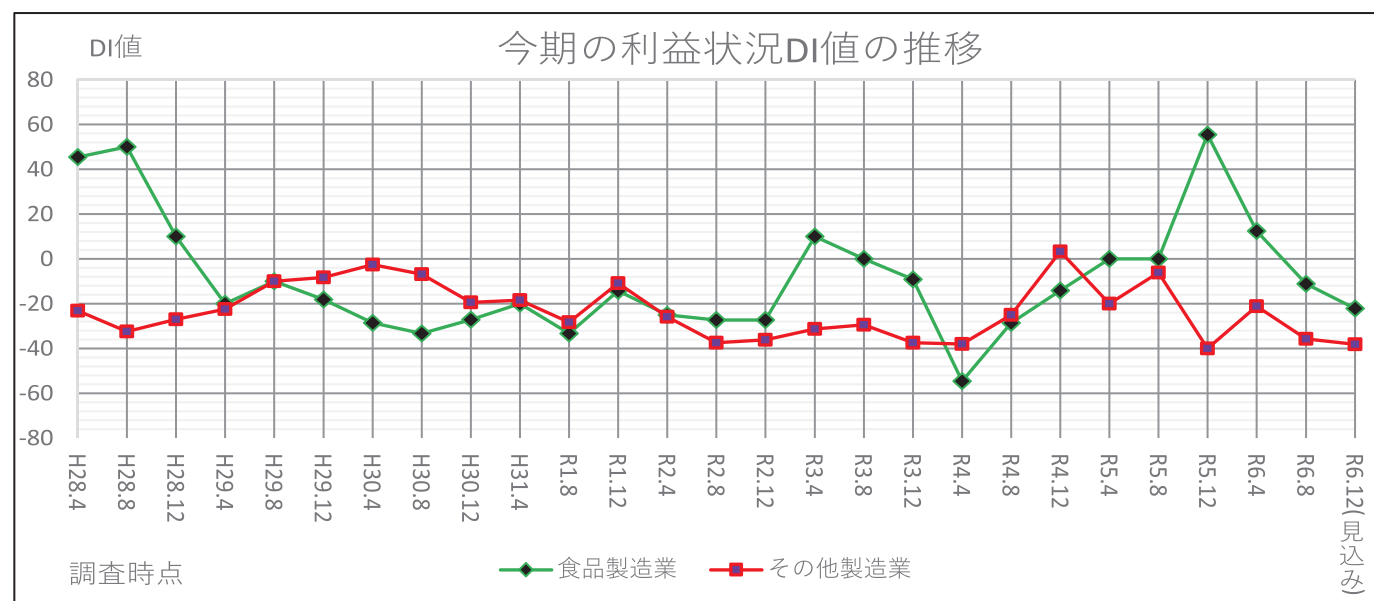
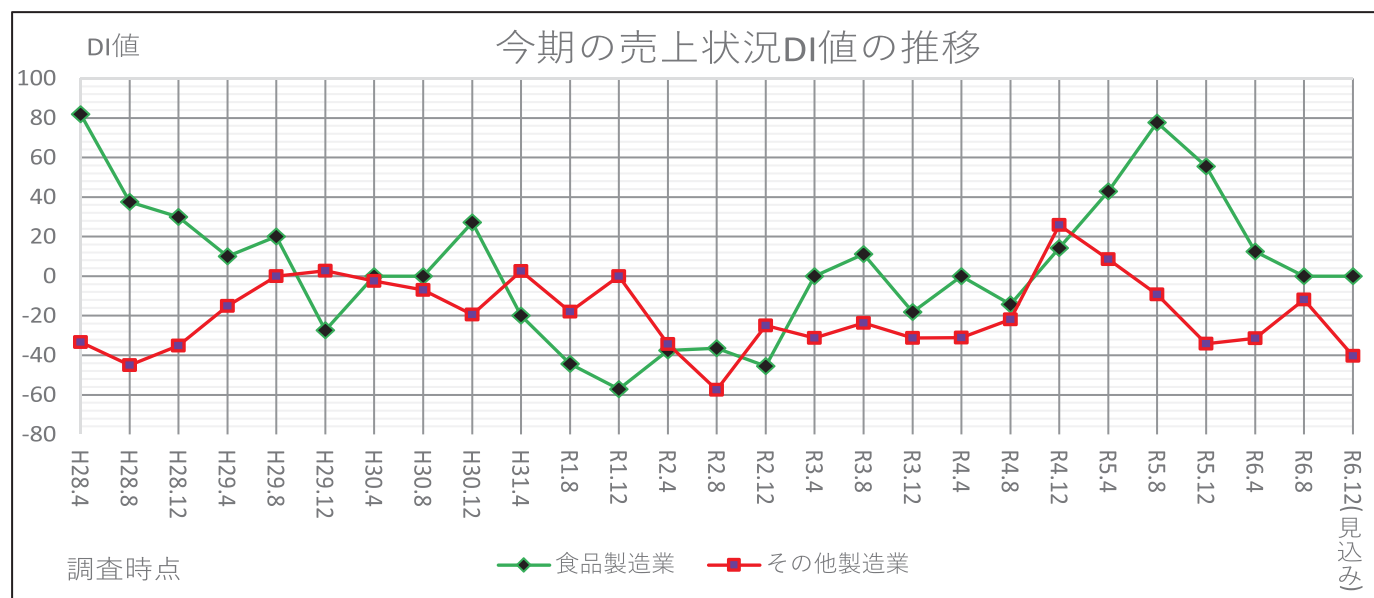
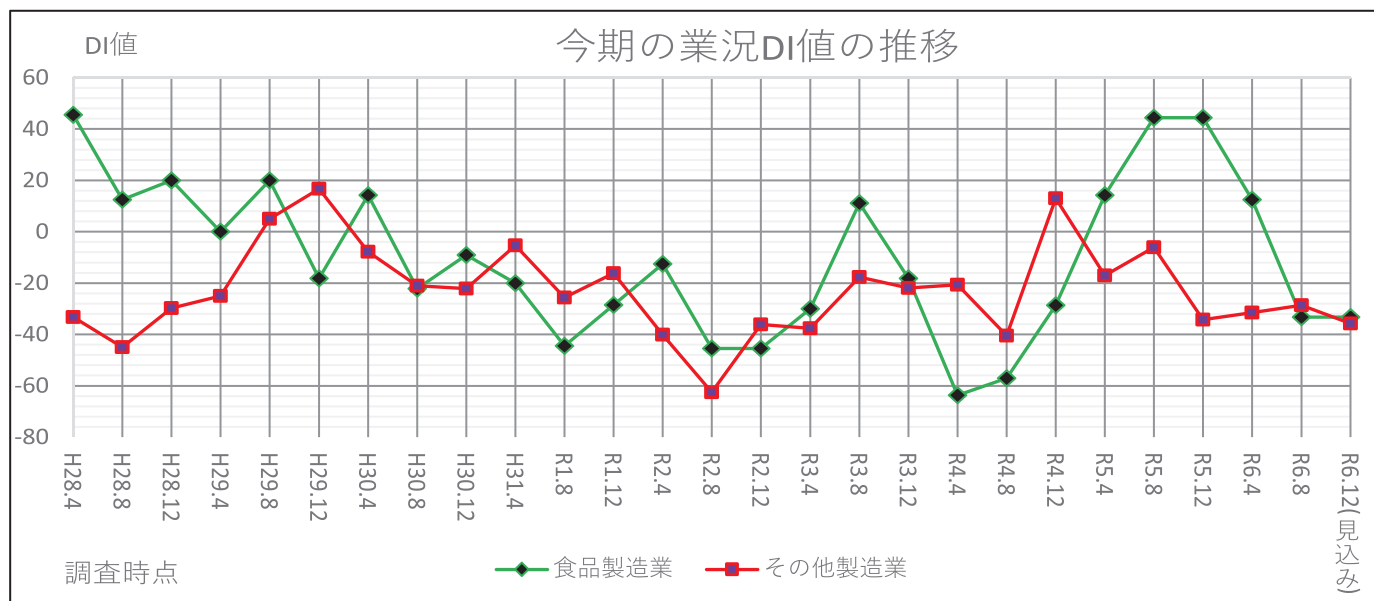
・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	売上、受注の停滞減少 58.8%	原材料高及び不足 54.9%	人材難、人材不足 設備、店舗の狭小老朽化 41.2%
卸売業	原材料高及び不足 58.8%	売上、受注の停滞減少 人材難、人材不足 41.2%	競争激化 35.3%
小売業	売上、受注の停滞減少 53.3%	原材料高及び不足 50.0%	人件費等経費の増加 33.3%
サービス業	原材料高及び不足 37.5%	売上、受注の停滞減少 人件費等経費の増加 30.0%	人材難、人材不足 27.5%
建設業	人材難、人材不足 原材料高及び不足 53.3%	売上、受注の停滞減少 人件費等経費の増加 35.6%	競争激化 15.6%



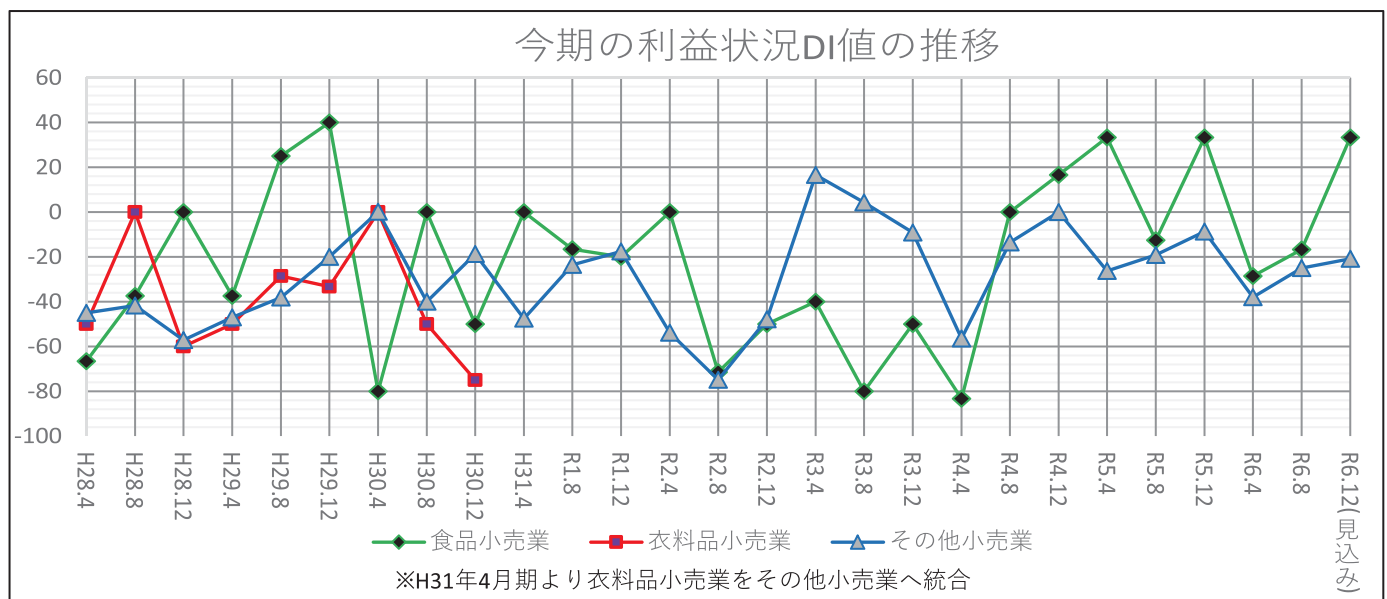
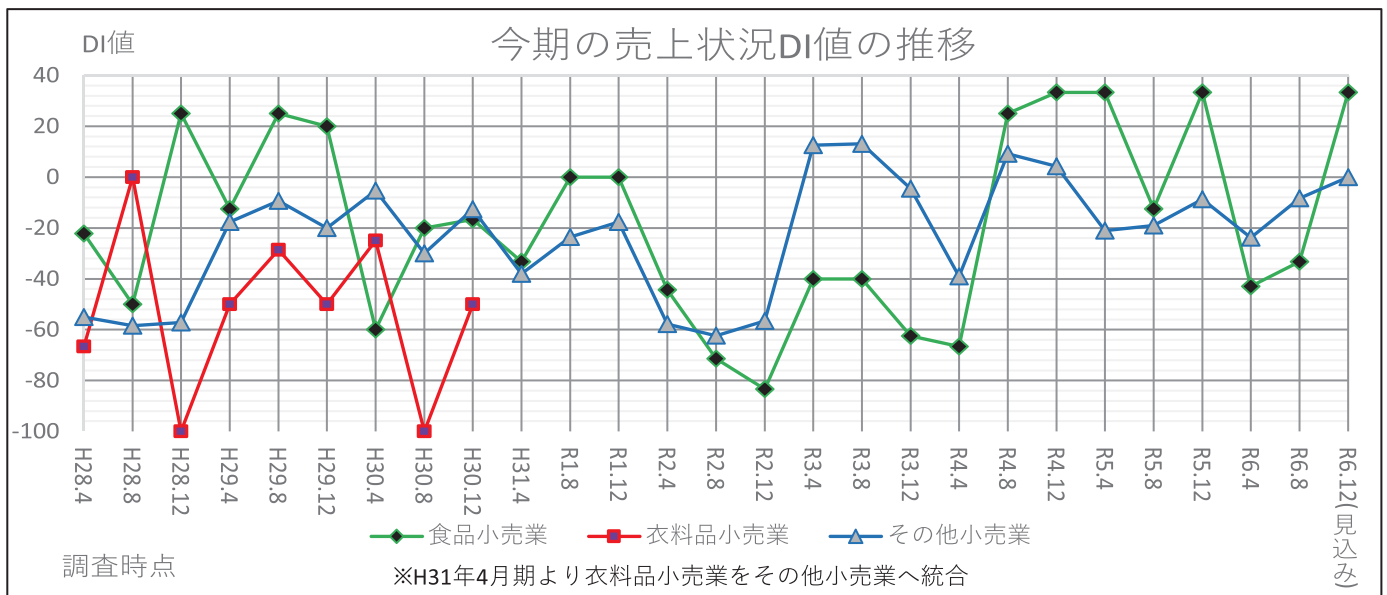
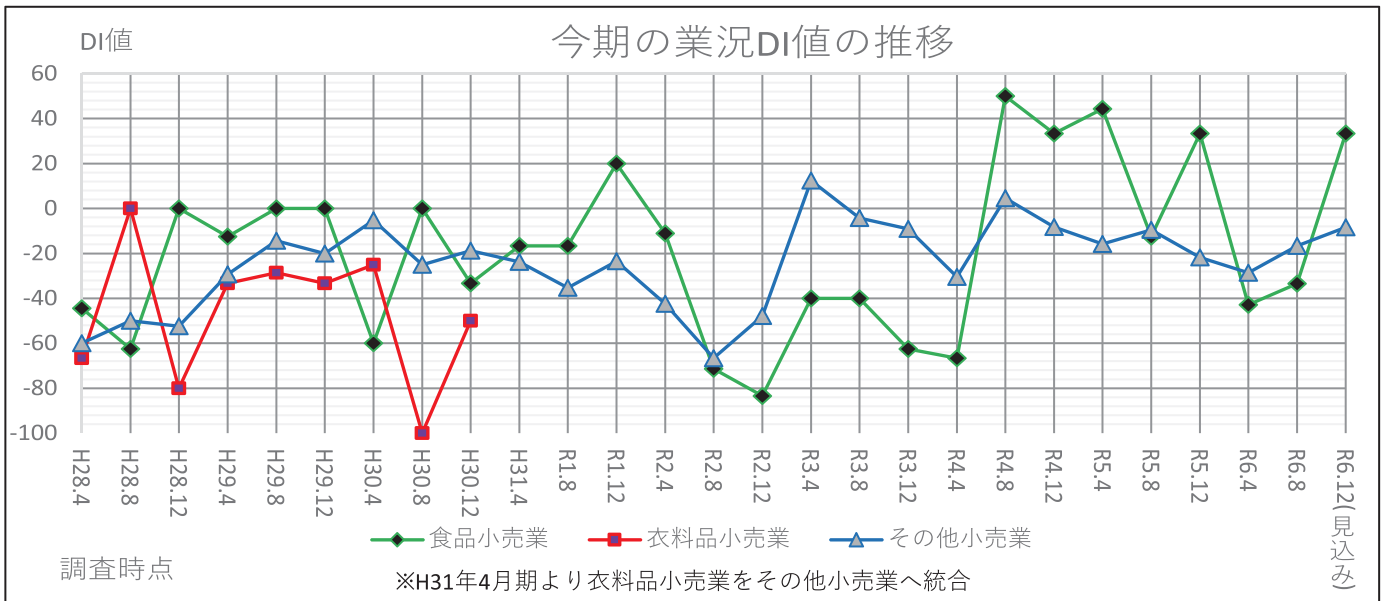
### Ⅲ 業種別参考資料

#### 1. 製造業

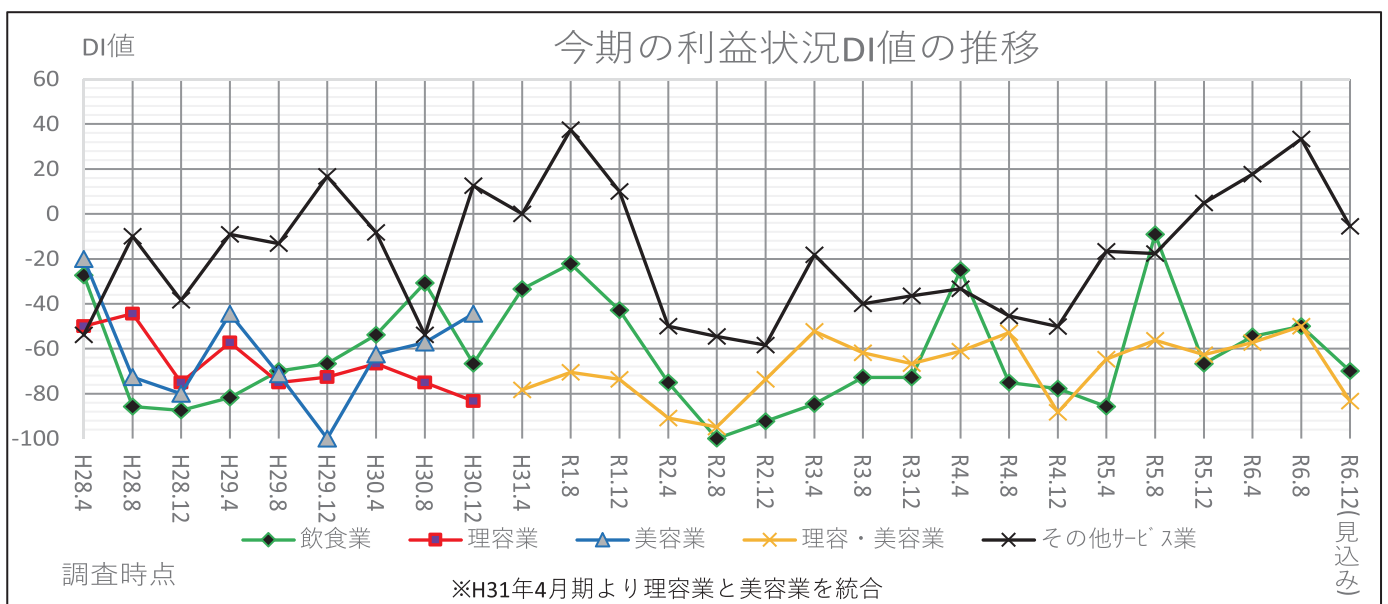
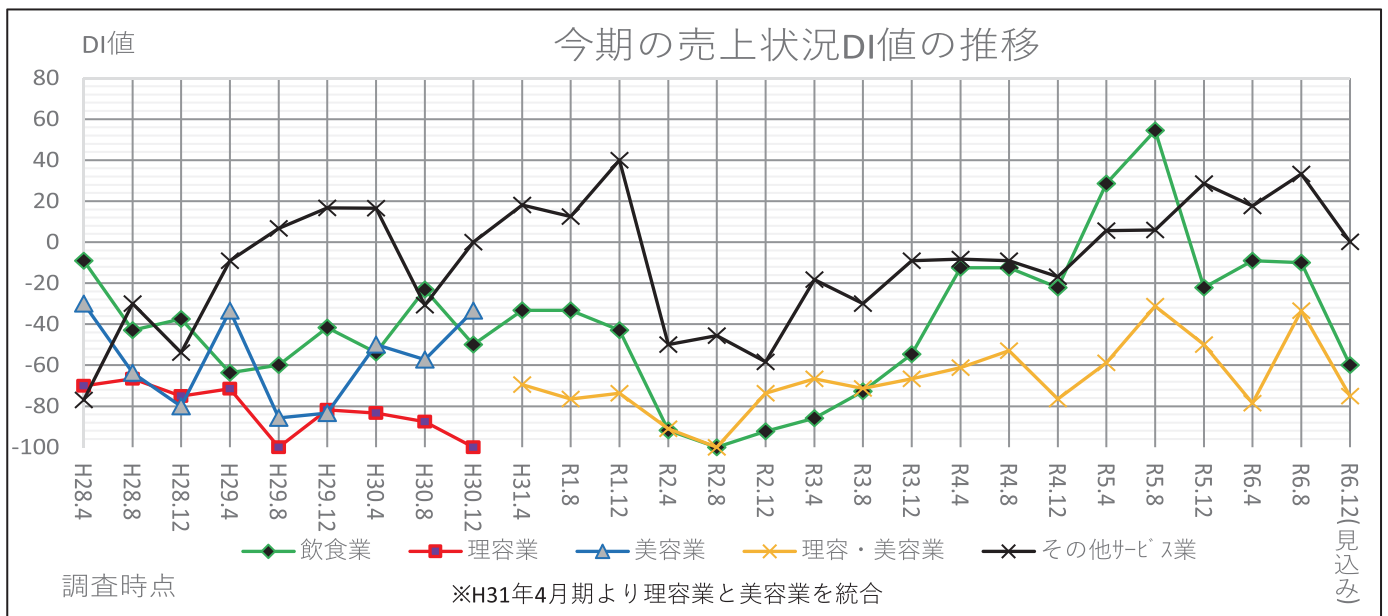
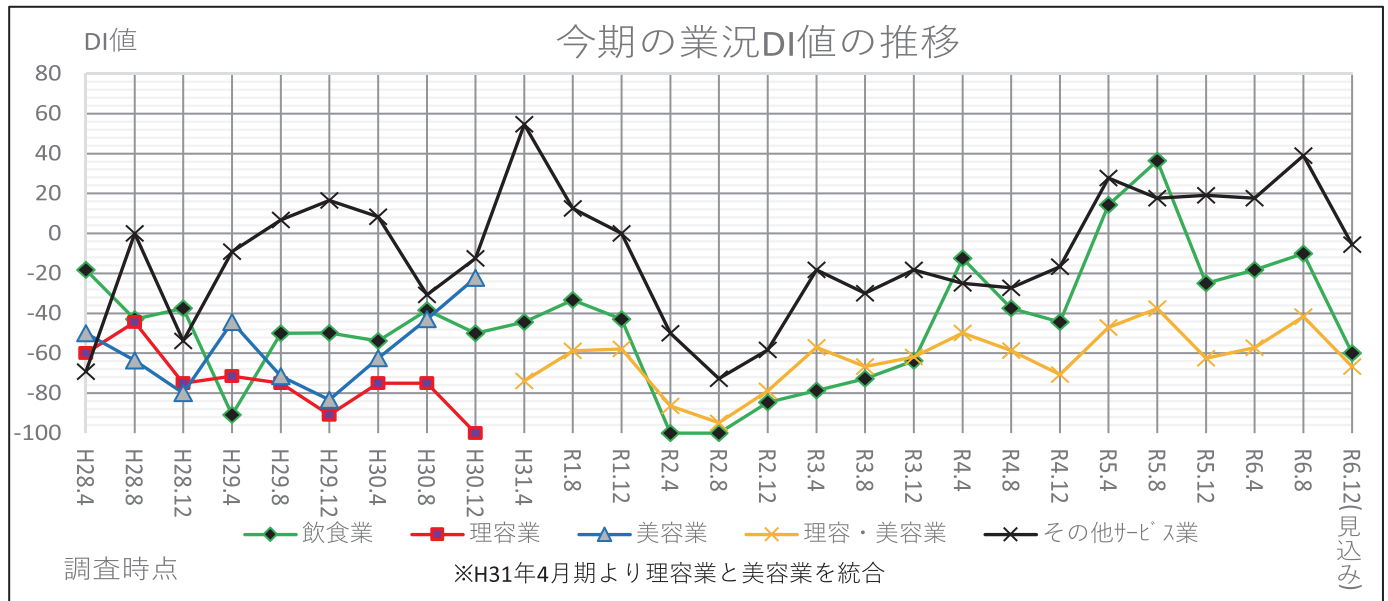




## 2. 小売業



### 3. サービス業



#### 4. 建設業

